

～～第8506回～～

木曾駒ヶ岳～三ノ沢岳

～H30. 8. 18-19～

今年は例年と違って台風が多く発生し、しかも西進したりなど、その影響を心配しつつ、合間をぬって出かけた。菅の台駐車場はお盆過ぎにも関わらず満車で、バス停から外れた駐車場に案内された。登山バス乗車は30分ほど、ロープウェイは1時間30分待ちで、登山口の千畳敷に到着した。幸い「今日から平常の気温に戻ります。」との予報どおり気温16℃、湿度30%で爽快。大勢の観光客で賑わう中で、ストレッチを行い出発。特にお花も紅葉も無いカールを通過して、すぐに八丁坂に取付き、高山と急勾配の洗礼を受けた。乗越浄土で昼食を摂り、山荘にチェックインしてから中岳を経由して駒ヶ岳山頂へ。山頂からは東方面へ下り、馬の背で右折して駒ヶ岳頂上山荘に向い、中岳の西側を迂回して宝剣山荘に帰った。迂回路の分岐点には(危険)と書いてあり、やはり明日の宝剣岳登山の前哨戦とも言えるスリル満点の岩場があった。山荘は1部屋6名ずつの小室。到着が早かったので、小屋前のテーブルに陣取り、東方の八ヶ岳、甲斐駒、仙丈、北岳、間ノ岳、農鳥と間近に明朝登る宝剣岳を眺め、飲みながらワングル談義で花を咲かせた。夕食後は、明朝と寝る支度を整え、小屋の後方で、御嶽山方面に静かに沈む真赤な太陽とピンクに変化して行く宝剣岳の天狗岩と三ノ沢岳を見て、日が沈むまでしばらく最高の幸せなひと時を過ごした。次の日は、4:00起床、5:00朝食、小屋前でストレッチをして出発。ヘルメットにワングルの絆を着けて高度差約60mの宝剣岳アタック開始。安全通過のため、三点接地、前後の人の行動を監視して、手の位置・足場を助言し合い、岩場のロープ・クサリ場をクリアして頂上到達。記念写真を撮って遭難の碑へ。遭難の碑から三ノ沢岳は、片道2kmほど、中間点が200mほど低いVルートで、南側は三ノ沢カールで花畑の名所でもあるが、お盆過ぎのこの時期は、トウヤクリンドウの花とチングルマの羽毛ぐらいでした。三ノ沢山頂で御嶽、乗鞍、笠ヶ岳から穂高・槍ヶ岳の眺望を楽しみながら昼食を摂ったあと、遭難の碑まで戻り、極楽平経由で千畳敷に戻った。またロープウェイ1時間30分待ちとなり、その間ストレッチをして、この山行のために購入したという隊員のバーナーで沸かしたコーヒーを頂いて、無事下山した。

参加者：6名（焼津4、藤枝1、島田1）

天候：晴

地図：木曾駒ヶ岳

コースタイム：①焼津駅500＝菅の台BC805-40＝しらび平910-1040++千畳敷1050-1105
…木曾駒ヶ岳1330…宝剣山荘(泊)1440 ②宝剣山荘600…宝剣岳640…遭難の碑730-45
…三ノ沢岳1015-50…遭難の碑1112…極楽平…千畳敷1410-1540++しらび平1550-1600
＝菅の台BC1640＝焼津2030

記録：焼津支部 伏見